

研究の概要

助成年度・種別	2014年度 一般研究助成
研究代表者	細井 洋子
所 属	東洋大学人間科学総合研究所
研究テーマ	高齢受刑者の生活キャリアと生活意識の変遷
研究の概要 (助成申請書の要約)	<p>増加する高齢犯罪者の問題の一つは、出所後の彼らの「自立」と、再犯からの脱却の方策を考えることである。代表者らは、警察庁と法務省による大規模な研究成果を踏まえて、過去5年間に、新しい視点になった研究を2本行ってきた。(2009年度社会安全研究財団研究助成「社会的リスク要因としての高齢者犯罪」と2011～13年度の科研費:基盤研究C「高齢受刑者の「生活世界」と、出所後の彼らの自立プロセスに関する実証的研究」)</p> <p>本研究は、これらの研究の上に新たな構想と計画によるものである。研究の焦点を、高齢犯罪者の中の「高齢受刑者」(男女)に絞り、彼らが犯罪に至った経緯、動機、社会的状況、幼少期・青年期の自己像、成人期の経歴、高齢期への期待と挫折、家族への思いと疎外感、職場や社会との関係などについて、高齢受刑者への自記入式調査では得られにくい、よりリアルな実態を、半構造的な「面接調査」を通して明らかにする。対象は日本とニュージーランドの受刑者・元受刑者である。この種の調査は従来、外部の研究者によって行われることは極めて稀であったが、両国の国、研究機関、犯罪加害者支援のNPOなどの協力を得て実現の運びとなった。</p>
選考委員からのコメント	<p>高齢受刑者の出所後の自立と再犯からの脱却の方策を明らかにするために、受刑者対象のライフヒストリー聞き取り調査など複数の調査を実施し、データの蓄積を図る点にこの研究の特色がある。研究実績が豊富で多領域からの研究者を加えた研究組織も妥当である。たんにライフヒストリーの記述に終わることなく、自立と再犯からの脱却に結びつくインプリケーションを引き出すことが期待される。</p>